

香美市立
やなせたかし記念館
アンパンマンミュージアム
& 詩とメルヘン絵本館

高知県香美市
香北町美良布 1224-2
0887-59-2300

※入館には
事前予約が必要です



ドラマで描かれたやなせたかしの人生と作品に触れる特別展を11月9日(日)まで開催中

きらびと

vol.26

公益財団法人やなせたかし記念
アンパンマンミュージアム振興財団
事務局長・学芸員

仙波美由記さん

本物のアートは
世界を広げる

1976年 上分町生まれ。高知県在住
上分小→川之江南中→川之江高校→群馬県立女子大学→米国シモンズ大学
大学で美学美術史を学んだ後、アメリカ留学や大阪のギャラリー勤務を経て、2003年財団に学芸員として入職。
2012年から現職。

© やなせたかし

何でも屋と学芸員

私が事務局長を務める「やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団」では、やなせたかし名譽館長の多彩な作品を収蔵・展示する「やなせたかし記念館」を運営しています。事務局長と言えは聞こえはいいですが、私は「何でも屋」だと思っています。予算管理から施設の修繕計画まで何でもやります。元々学芸員として入職していますので、展覧会の企画や準備などにも携わっています。

先日まで放送されていたNHK連続テレビ小説「あなぼん」では、資料提供などで制作に協力させていただきました。放送後は、若者から高齢者まで幅広い年齢層の方が来館されるようになりました。ドラマをきっかけに、より多くの方がやなせ館長に関心を寄せてくれるようになり、嬉しく思います。

私とやなせ館長

「学芸員」という仕事を知ったのは、学生の頃に訪れた丸亀市の猪熊弦一郎現代美術館です。将来は現代アートに携わりたいと思い、大学で美学美術史を学びました。卒業後は、アメリカ留学や大阪のギャラリー勤務を経て、27歳の時に当財団に入職しました。今から13年前、学芸員の私に事務局長就任の話が舞い込んできました。当時私は30歳代。学芸員としてもまだまだこれからという時

で、不安はありませんでした。でもやなせ館長は、就任のあいさつのために訪れた私に「いいじゃない!」と言って力強く握手をしてくれました。その言葉と笑顔のおかげで、これまで頑張ってきた。

やなせ館長は人を喜ばせることが好きで、派手な服を着て人前に出たり、決して得意とは言えない歌を披露してみたりと、常に周囲を笑顔にすることを考えていました。そんな館長との時間は、私にとってかけがえのない宝物で、館長の生き方は私の指針です。

推しを推せ

現在、やなせ館長の人生と作品を体感できる特別展を開催しています。来館された方に館長の思いや生き方を伝えるため、展示内容に始まり壁の色まで、学芸員が細部にわたり工夫を凝らしています。

学芸員の仕事を一言で言うなら「誰よりも作家を推す」ことです。学芸員は、自分自身が作家の熱心なファンとなり、作品はもちろん作家の人生にも向き合っており、「推し」の魅力をプレゼンします。

私は猪熊弦一郎現代美術館で本物のアートに触れたことで、夢や視野が広がりました。アートには、人に新しい世界や感動を与える力があります。ぜひ当館で、私たちが「推す」本物のアートを体感してください。